科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	日本語アカデミック・プレゼンテーションⅠ Japanese Academic Presentation Skills I			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 福原　香織		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	金3	配当学年	１回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

日本語でアカデミック・プレゼンテーションが確実に行えるようになることがこの授業の目的である。そのために、【1】自然で聞きやすい日本語の発音・アクセント・イントネーションの習得、【2】プレゼンテーションに相応しい態度・話し方の練習、【3】聴き手が理解しやすく説得力のある発表内容とするための構成・言語的工夫を考え、その前提となる論理的思考力を養う。

[到達目標]

・適切な構成と言語的工夫を用いて、自分の意見を論理的に述べるスキルを習得する。
・自然で聞きやすい日本語の音声を身に付ける。
・20分程度の説得力があるプレゼンテーションが行えるようになる。聴き手に対する配慮ある態度も身に付ける。
・自分の発表に対する質疑応答に答えられるようになる。

[授業計画と内容]

第I期は、日本語の発音・アクセント・イントネーション、口頭発表の基本事項について学ぶ。その際、口頭発表に相応しい語彙・表現、論理構成などについて説明し、学生が無理なく発表スキルを身に付けられるように進めていく。また、高いレベルの日本語口頭表現の一環として敬語の運用練習も行う。パワーポイントやレジュメの作成、扱い方についても学ぶ。学期を通じて、15～20分程度のプレゼンテーションは２回行い、発表後にはフィードバックを行う。その他、ペア発表や即興スピーチなども取り入れ、発表に慣れていく。原則として、授業中に発表原稿の作成指導はしないが、学生はいつでもメールで原稿チェックを受けることができる。
第１～２週：音声面の練習／第３週：プレゼンテーションの基本事項（１）／第４～５週：敬語／第６週：即興スピーチ／第７～第９週：発表／第10週：フィードバック／第11週：プレゼンテーションの基本事項（２）／第12週～14週：発表／第15週：フィードバック

[履修要件]

日本語・日本文化研修留学生専用科目

・欠席をしないこと。プレゼンテーションの順番などは全て授業中に決めるので、欠席すると自分に不利になる。また、自分が発表する時間に欠席するとクラスの皆に迷惑がかかる。やむを得ない場合は、必ず事前に講師まで連絡をすること。
・プレゼンテーションが成功するかどうかは事前準備で決まるので怠らないこと。また、授業外での自主学習（音声面の練習、テーマについて思考を深めることなど）が求められる。
・プレゼンテーションの後は、毎回フィードバックを行うが、改善すべき点を指摘されたら必ず次回に活かすこと。

[成績評価の方法・観点]

出席・授業態度30%、プレゼンテーション70%、提出課題10%　の割合で評価する。プレゼンテーションは、単に日本語能力だけで判定せず、複数の領域（態度・音声・内容・論理性・言語表現など）を総合して評価する。また、より良いプレゼンテーションを行うために、学生自身が具体的な取り組みや工夫をしているか、事前準備をしっかりしているかなどを重視する。

日本語アカデミック・プレゼンテーションⅠ(2)へ続く↓↓↓

日本語アカデミック・プレゼンテーションⅠ(2)

[教科書]

授業中にハンドアウトを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で学んだ音声のポイント、語彙・表現などは確実に運用できるように、復習をすること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]